

事務事業チェックシート

事務事業No 653 事業名 ユネスコ活動推進事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		生涯学習振興費	
	大事業		生涯学習振興事業	
事項		ユネスコ活動推進事業		

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	3	生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
基本方針	1	生涯学習推進体制の充実

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	地元教育の推進			

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	生涯学習課	生地 顕 (435-1138)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	和歌山ユネスコ協会の活動の推進を図るとともに、多くの市民にユネスコ精神を広く普及させる。	ユネスコ活動を展開させることにより、ユネスコ精神の普及に努め、協会組織の強化を図る事業に対して補助を行う。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	ユネスコ活動の支援 (平和の鐘打鐘会の開催、書き損じハガキキャンペーンの実施等)	ユネスコ活動の支援 (平和の鐘打鐘会の開催、書き損じハガキキャンペーンの実施等)	ユネスコ活動の支援 (平和の鐘打鐘会の開催、書き損じハガキキャンペーンの実施等) 全国大会の開催	ユネスコ活動の支援 (平和の鐘打鐘会の開催、書き損じハガキキャンペーンの実施等)	ユネスコ活動の支援 (平和の鐘打鐘会の開催、書き損じハガキキャンペーンの実施等)	

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	49	54	49	64	558	549	50		50	
伸び率 (%)	-		0.0%		1038.8%		-91.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	3,487	3,487	4,077	4,093	4,060	4,060		4,060	
	非常勤職員	101	101	101	101					
	小計	3,588	3,588	4,178	4,194	4,060	4,060		4,060	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	49	54	49	64	558	549	50		50	
所要人数	常勤職員	0.46	0.46	0.54	0.54	0.53	0.53		0.53	
	非常勤職員	0.05	0.05	0.05	0.05					
主な予算内訳	ユネスコ運営補助金45千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	会員数	年度目標値	100	100	100	100	100		
		実績値	56	63	59				
	単位	人	全体目標値	100	全体目標達成度	年度別達成度	56.0%	63.0%	59.0%
成果指標	新規会員数	年度目標値	10	10	10	10	10		
		実績値	3	7	4				
	単位	人	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	30.0%	70.0%	40.0%
	平和の鐘打鐘会参加者数	年度目標値	1,500	1,300	1,300	1,300	1,300		
		実績値	1,179	1,290	1,262				
		単位	人	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	78.6%	99.2%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	ユネスコ精神の普及に努め、協会組織の強化を図る。
「見直し」 「改善」案	会員の高齢化が大きな課題である。若年層への加入の呼びかけに努めたい。